

会長就任挨拶 | マニフェスト FY25-26

2025/09/27

日本バスケットボール協会会長 島田慎二

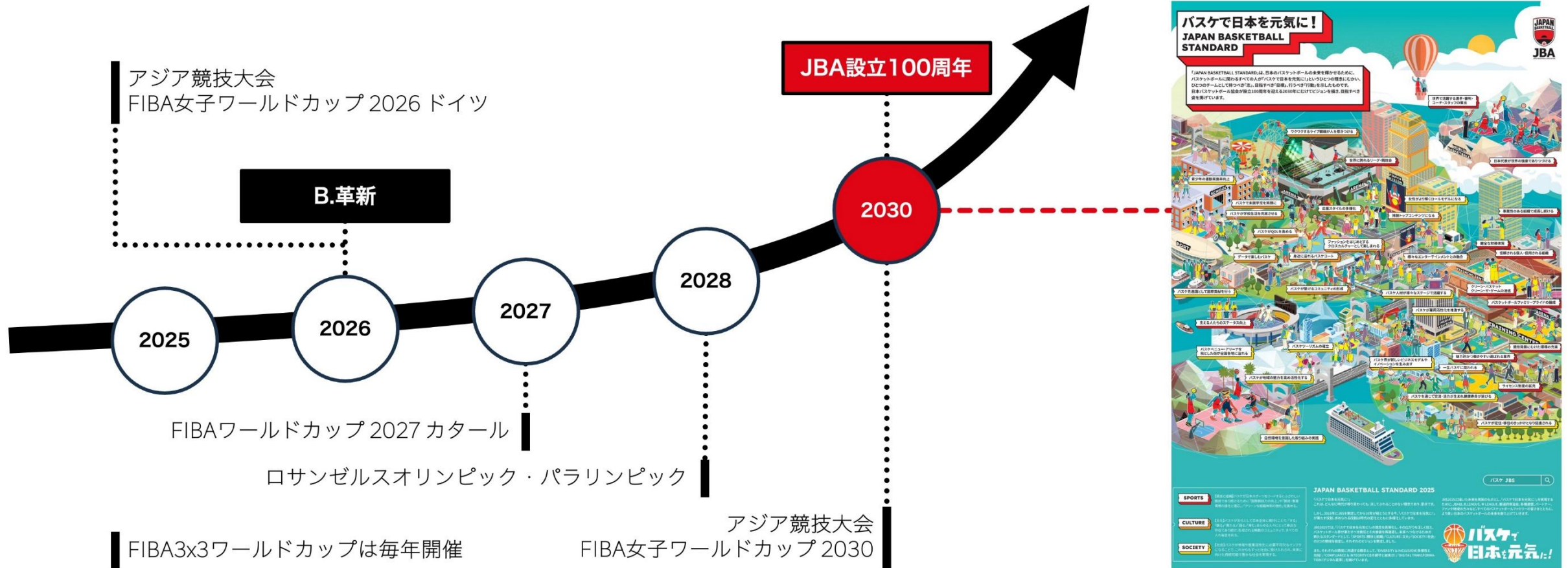


興せ、強いJBA。

日本バスケットボール界の更なる発展にむけ、JBAに強いリーダーシップと覚悟を

JBS（JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025）の達成に向け

JBAは設立100周年となる2030年までの指針であり、ゴールであるJBSの達成がミッション。
そしてその達成に向けて2028年 LA五輪が重要なマイルストーンとなる。



少子高齢化/働き方改革/アジア各国の成長など、外部環境を踏まえるとJBS達成は容易ではなく、バスケットボール界が一丸となり、現状の勢いに満足せず危機感を持って臨んでいくことが不可欠。

JBAが目指す日本バスケットボール界のあり方

ONE Basketball

molten®

2030年に設立100周年を迎えるJBAの理念は「バスケで日本を元気に！」です。
その実現に向け、2030年までに達成すべき目標としてJBSを掲げています。

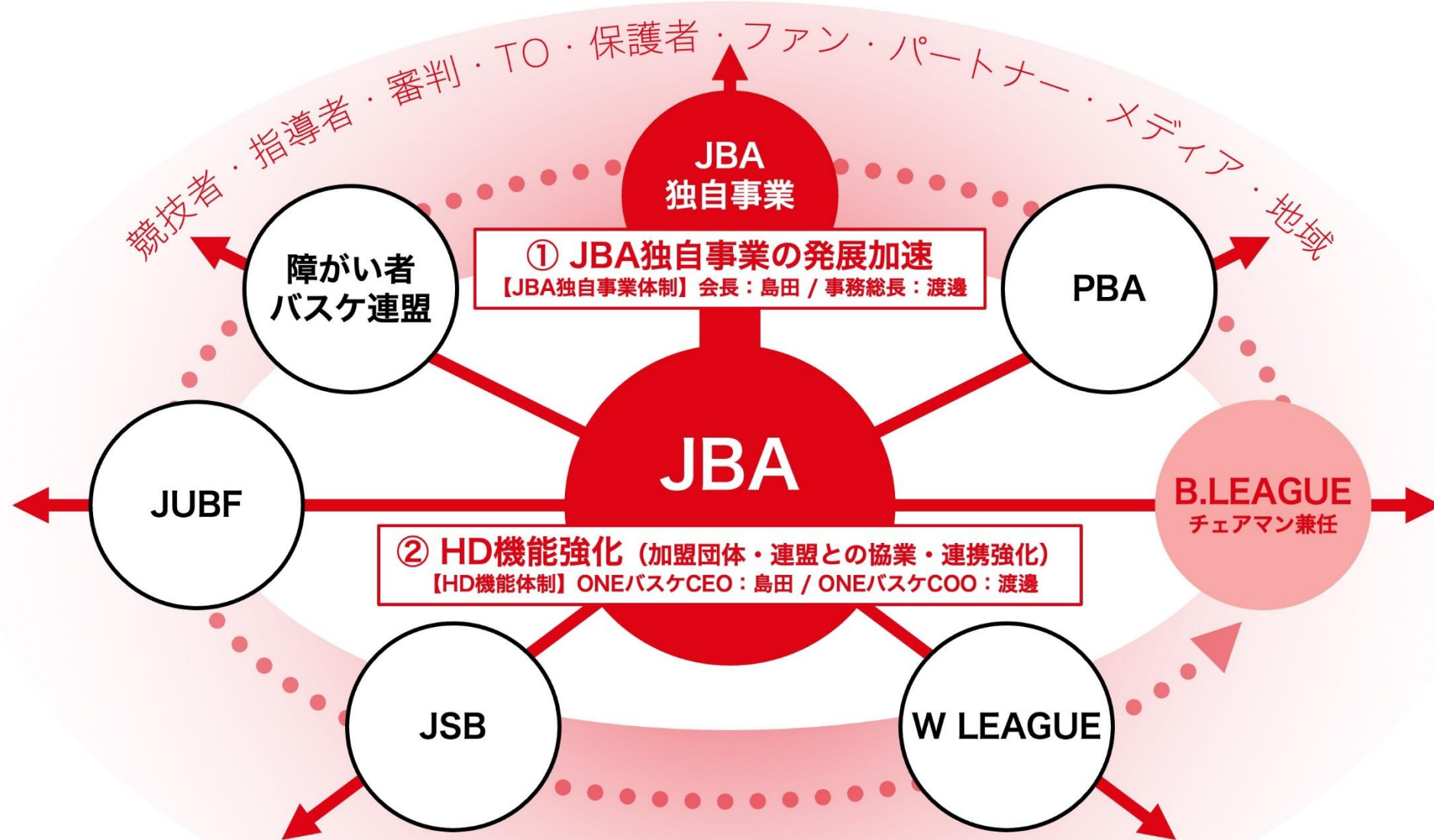
日本のバスケットボールは、かつてないほどの盛り上がりを見せています。
しかし、現状は決して満足できるレベルではありません。
JBAが、日本のバスケットボールが目指す世界はもっと壮大で、遥かな高みにあります。
次の100年、更なる成長のために今こそ総力を結集し、新たな地平を切り開かなければならないのです。

JBAがホールディングス機能を強化し、日本のバスケットボールに関わる全てのステークホルダーが、
それぞれの持ち場で、最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整えます。
力を合わせて、単体では実現できない大きな取り組みを推進する後押しをします。
大小さまざまな、1つひとつの真剣勝負を積み重ね、未来の大きな成果へとつなげていきます。

ONE Basketball

日本バスケットボール界は一丸となって、自らを変革していきます。
バスケットボールの枠組みを超え、スポーツのあり方を刷新し、新たな産業を創造するチャレンジです。
元気な日本の未来をつくるJBAの、日本バスケットボール界のチャレンジにご期待ください。

“ONE Basketball” 実現に向けて強化するJBAの2つの機能



JBAのミッションを業界全体の発展のためのホールディングス＝HDとして拡大/再定義。
トップ兼任となるB.LEAGUEが先鞭となり、加盟団体・連盟との協業・連携のあり方を強化・充実させる。

“ONE Basketball” で取り組む 7つの具体アクション

① JBA独自事業の発展加速

短期プランの策定および実行

- ・ ロサンゼルス オリンピック・パラリンピック出場を目指して
 - 男女5人制/3人制/車いすの日本代表の更なる強化
 - 強化のための海外遠征や環境整備への投資を実施
 - 日本代表強化委員会 委員長の決定と強化体制の策定

長期プランの策定および実行

- ・ ユース世代/指導者/審判の普及・育成・強化

日本で最も社会と繋がったオープンな協会へ

- ・ 透明性と説明責任を果たし、必要な機能強化、価値を伝達する

② JBAホールディングス（HD）機能強化

PBA・団体との協業・連携（W LEAGUE/社会人連盟 他）

ONE Basketball視点でのB.LEAGUEとの連携強化

- ・ 強化育成、審判、国際連携 など

資金・人材・DXの還流スキーム構築

上記に対して積極的に投資し“稼ぐ”機能を強化、持続的に稼ぎながら人的投資を行い好循環を生み出す

日本バスケットボール界・スポーツ界を2030年と、さらにその先に向けて大きく発展させるべく、直近の2年間で上記の具体アクションに対して積極的に投資。

スポーツを 日本の未来を託せる産業に

スポーツには、もっと出来ることがある。バスケットボールが、スポーツの未来の道しるべになる。

Thanks

